

京都 東山三十六峰越 walk <<1>>

【1】 京都市街と山科を結ぶ東山滑石越「滑石街道」を歩く 2016.9.13.

府道118号線 今熊野勤修寺線 大石内蔵助が山科から祇園・伏見へ通ったという古道
東山三十六峰を越 滑石街道 京都の新しい散策道をつつまた 見つけました



京都鴨川横 鴨川塩小路橋から眺める東山 南部



JR東海道線 東山トンネル出口 今熊野橋より



府道118号 今熊野勤修寺線。 東山通の今熊野交差点から東へ
両側にびっしり、家並みが続く狭い坂道が東山へと登ってゆく。
かつては 大石内蔵助が計を図りながら、山科から祇園・伏見へ
足しげく通った道だという。

滑石街道・醍醐街道などと名称はついているが、幹線道路の役割を三条通
日岡越や五条通東山越に渡し、今は街道筋に暮らす人たちの生活道路。
車に邪魔されることもなく 往時を思い起こしながら ゆっくりと
家並みを楽しみながら東山越

30分もあれば峠越 1 時間もかからず、山科の街へ
山科がこんなに近いとは!! びっくりした古道です



最近 山科西野山界隈を歩いていて知った JR 東山トンネル
の上を越えて京都と山科を結ぶ「東山滑石越」滑石街道(府
道118号今熊野勤修寺線)。 かつては京都と山科を結ぶ
間道として、京都ではよく知られた道という。
東山を越えて山科に入る西野山地区は古い時代 中臣氏(藤
原氏)の本拠地であり、坂之上田村麿の墓もある。
また、忠臣蔵大石内蔵助が居住し、忠臣蔵の計画をめぐら
したところでもある。さらに、この東山滑石越の道は稲荷
山そして醍醐への道。
古い歴史をたどる道で「滑石街道」の名前にはさぞ由緒が
あるのだろうとイメージを膨らませましたが・・・・・・。





滑石越 山科側西野山から山科市街地



滑石越 東山の峠(京都今熊野/山科西野山)



滑石越 京都側今熊野から京都市街地



東山 滑石越 ルート図



JR京都駅東 塩小路橋から眺める東山



山科 新十条通から眺める東山

「滑石街道」の名は「忠臣蔵の秘策を練る大石内蔵助が、放蕩を装って、毎夜毎夜 東山の山道を越えて 祇園・伏見へ通った際に、凍り付いた古道で足を滑らせて転んだことであろう」と誰いうとなく「大石も滑る→すべり石」街道と呼ばれるようになったという。

何かすごい歴史がこの道に隠されていると思いましたが、意外にも庶民の感覚のネーミング。

でも、地図で眺めてみると曲がりくねった狭い道の両側にびっしり今熊野の家並みが峠まで続く生活道路。

古い時代から住み継がれてきた生活道路に違いない。

三条通日岡峠越・五条通東山越の道が、幅の広い幹線道路に対してびっくりの東山越。昔も今もずっと 車に邪魔されずに歩ける庶民の道「滑石街道」なんだと。

観光客の雑踏もなし 車にも邪魔されず、山から眺める景色も独り占め。京都にうれしい古道の散歩道 発見。

今にも雨が降り出しそうな9月13日朝 今熊野/滑石越/山科西野山の滑石街道 walk へ

帰りは 午後 山科側から 稲荷神降臨伝承 伏見稲荷大社の御神体山「稲荷山」に登って京都へ。

曲がりくねった狭い道の両側にびっしり今熊野の家並みが峠まで続く、古い時代から住み継がれてきた生活道路。

それも 東山通今熊野から東山を登るというより、ぶらぶら坂歩きで約30分で峠に



今熊野の一番上 滑石街道 日吉南町周辺から眺めた京都の街 2016.9.13.



今熊野から峠にかかる一番高いところからは、そして 雲に煙る西山をバックにした京都の街が遠望。京都タワーも見える。

随分下に京都の街がみえ、知らぬ間に東山の上に。

街道筋の家並みが途切れて、緑に包まれた東山の山中 視界が開けないが 平坦になって峠も近い。この下を東海道線・新幹線のトンネルが潜り抜けている。時折、通り過ぎてゆく自動車以外誰もいない静かなもの。

山科側は一体どないになっているのか、興味津々。

30分足らず 平坦な道を曲がると急な下り坂。 ここが峠でした。
 急な坂道を下ってゆくと、文字通りのヘアーピンを描くカーブに。
 この横の竹藪の中が坂之上田村麿の墓といわれる西野山古墓。
 この坂道で山科の盆地の大パノラマ。 急に開けた街並みにびっくり。
 また、約1時間弱で山科 西野山地区の街へ。
 京都と山科がこんなに近いとは・・・。
 びっくりですが、逆に気分的な東山の壁の大きさにも気が付きました。



西野山から眺める南北に広がる山科盆地全景

西野山桜の馬場町周辺分岐より 2016.9.13.



滑石街道 山科側の下り路 きれいなヘアピンカーブ 2016.9.13.
 すく横に西野山古墓 眼下には山科盆地のパノラマが広がっていました



知っているようで 知らなかった楽しい京都
 東山三十六峰 滑石越 walk でした。
 観光客の雑踏もなし 車にも邪魔されず、
 山から眺める景色も独り占め。
 昔も今もずっと 車に邪魔されずに歩ける庶民の道「滑石街道」。
 京都にうれしい古道の散歩道 発見でした。

2016.9.13. たどってきた滑石街道の道を眺めながら
 山科 滑石・新大石道で Mutsu Nakanishi

【2】 京都 東山三十六峰越 walk <2>

東山三十六峰南端の稲荷山 横断ハイク 稲荷山降臨伝承の三ヶ峰から伏見稲荷大社へ

帰りは山科西野山から稲荷山へ登って伏見稲荷大社へ 久しぶりの稲荷山はワンダーランド

<http://www.infokkna.com/ironroad/2016htm/iron12/1610inariyama00.htm>

参考 和鉄の道・Iron Road By Mutsu Nakanishi

1. 京都 東山三十六峰越 Walk 2016.9.13.

[1] 京都市街と山科を結ぶ東山滑石越「滑石街道」を歩く 2016.9.13.

京都にうれしい古道散歩道の発見 府道118号線 今熊野勤修寺線 大石内蔵助が山科から祇園・伏見へ通ったという古道

<http://www.infokkna.com/ironroad/2016htm/iron12/1610suberishi00.htm>

[2] 東山三十六峰南端の稲荷山 横断ハイク 稲荷山降臨伝承の三ヶ峰から伏見稲荷大社へ 2016.9.13.

帰りは山科西野山から稲荷山へ登って伏見稲荷大社へ 久しぶりの稲荷山はワンダーランドでした

<http://www.infokkna.com/ironroad/2016htm/iron12/1610inariyama00.htm>

2. 京都山科 西野山walk 2016.6.3.

<http://www.infokkna.com/ironroad/2016htm/iron12/1607nishinoyama00.htm>

1. 今の時代に通じる 征夷大將軍「坂上田村麻呂」&蝦夷のリーダー「アテルイ」の評価討論 !! NHK BS 英雄たちの選択 「衝突! その時 男は何を見た 征夷大將軍・坂上田村麻呂」より

2. 京都山科 西野山walk 主要訪問先案内 山科 西野山Walk 西野山周辺の古代伝承

3. 京都山科 西野山walk

3.1. 坂上田村麻呂墓を訪ねる

3.2. 稲荷伝承の折上稲荷

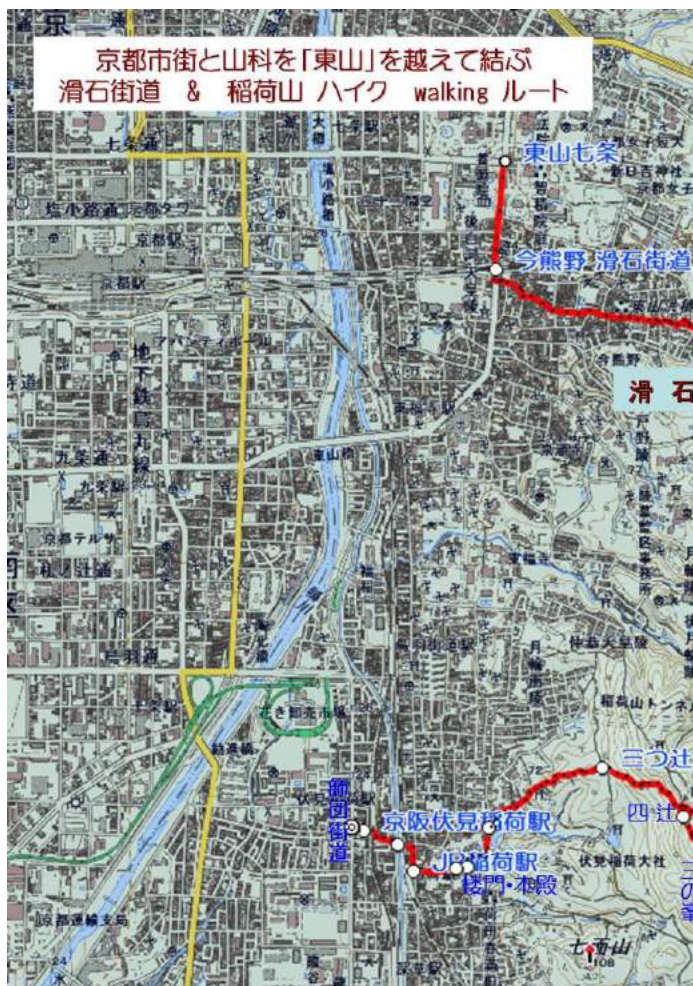
3.3. 西野山山麓の鍛冶伝承地 花山稲荷神社

3.3. 勤修寺 回遊式庭園の花菖蒲と睡蓮見学

4. 坂上田村麻呂創建の京都東山 清水寺に アテルイ・モレの碑を訪ねる

3. 京都山科に古代のたたら跡 如意ヶ岳南製鉄遺跡群を訪ねる 2013.8.26

<http://www.infokkna.com/ironroad/2013htm/iron09/1309yamashina00.htm>



1. 大石内蔵助が京都に通った古道 滑石街道(醍醐街道)
2. 稲荷神降臨伝承の稲荷山三つ峠 伏見稲荷大社の参詣道をたどる



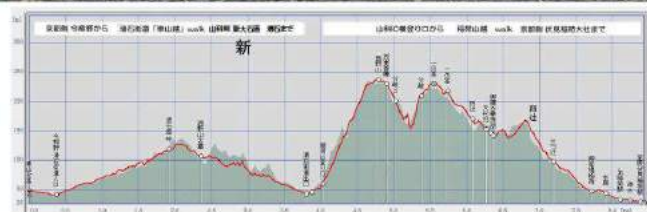
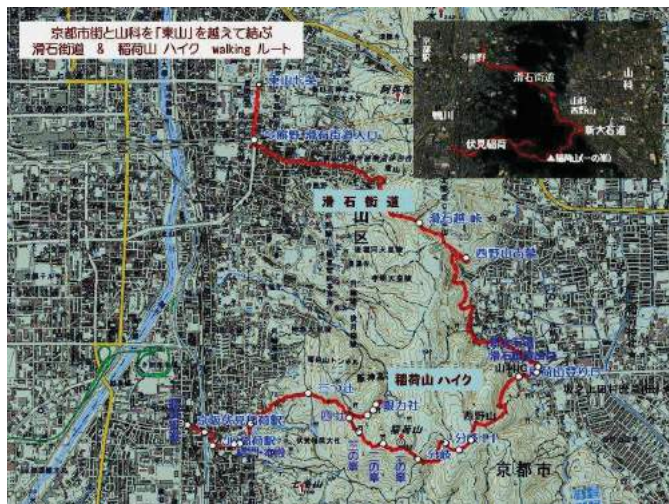
最近、山形県山形市を歩いていたら、沢山トンネルの上を越えて京都・山形を結ぶ東山形石巻の沿道街道(清治110年が野抄御年輪)。かつては京都から山形を結ぶ街道として、京都でもよく知られた道で、東山形越えて山形に入ると善寺町地区は古い町並み(善寺氏は石巻地方にあり、山形市街の町もある)。また、北沢郡大内蔵のあたりは、北沢蔵の町といわれるところでもある。

また、この山形県山形市として理解へての道でもある。いま「山形史」の道で、沿道石巻の町には昔は寺社があるところ、

「清和天皇の御時」は「臣庶の朝参する大内蔵内務が、故宮を建て、毎夜毎朝、東山形の山を越えて、善寺へ参りへ通つた。参りへたに道で河を渡ると見ゆにいとあやうとあらうと意にうろたふ大内蔵も「すべり石」街道と呼ばれるようになったと云う。例がすいて皇宮がたてられたいとあらうと云うが、意にうろたふの故宮のあらへる道にうろたふ。

また、山がにわたった狭い道の両側にびっけり今旅野の家並みが峠まで感心通道路。古い時代から住み継がれてきた三交通四神峠、五年通山山越の道が、壁の広い車道が走る神越道路に對して、びっけりの車山の間に、それと。車山通今旅野から車山を登るといふと、ふもとの坂歩きで約30分程度に。また、約30分登山の間に、約1時間。今旅野と松尾の間に。京都山科の山科山越えで約30分と本道に比し、びっけり。

2016.9.13. 山科 渚石・新天石遺で たどってきた渚石遺跡の遺跡跡ながら Mitsuru Nakayoshi

[illegible]

景況 山科町野山界隈を歩いていて知ったJR東山トンネルの上を越えて京都と山科を結ぶ東山トンネルの清水街道(併走118号京野自動車街道) かつては京都と山科を繋ぎ防護として、寛政で出来たと云われる道らしい。

景山 山科を越えて山科にある養神地蔵堂(宮内庁代官(氏臣)親臣)の菩提地であり、柳之木村御所の墓もある。また、忠臣蔵八木内蔵助が居たし、忠臣蔵の討ち明けたところでもあった。 また、この東山科は新田昌高と徳川頼朝の道である。 山科の戦いである源平「清水原の戦い」(名前は山科であるが山科ではなく山科の奥の山科と云われる)と云われる道である。

「丹石街道」の名は「赤銅の鑛山を採る大石内蔵助が、旅路を築いて、毎冬毎冬 丹山の山道を通えて 碓氷・伏見へ通った際に、馬子付いた道では足滑らせて転んだことも多い」と言い伝えなど「大石内蔵助のすべり石」街道と呼ばれるようになったという。同様に、「碓氷がここの崖に隠れている」と言いながら、意外にも表裏の感覚のネーミングで……

また、地図で眺めてみると峠が引かれた狭い道の両側にびっしり今原野の草生みが伸まで続く生活道路。

古い時代から生み継がれてきた生活道路に違いない。三条通日開峠越 五条通東山越の道が、幅の広い車道が走る幹線道路に対して、びっけりの裏山越。昔も今もずっと 車に邪魔されずに歩ける庶民の道「清石街道」なんだと歩くのが楽しみ。

順川は、山科野原山、大石神社の傍から、間草山に登って、伏見御霜大社へ参拝して帰ることに

【1】京都古街と山科を結ぶ東山滑石越 湯石街道を歩く 2016.9.13.

100% 99% 98% 97% 96% 95% 94% 93% 92% 91% 90% 89% 88% 87% 86% 85% 84% 83% 82% 81% 80% 79% 78% 77% 76% 75% 74% 73% 72% 71% 70% 69% 68% 67% 66% 65% 64% 63% 62% 61% 60% 59% 58% 57% 56% 55% 54% 53% 52% 51% 50% 49% 48% 47% 46% 45% 44% 43% 42% 41% 40% 39% 38% 37% 36% 35% 34% 33% 32% 31% 30% 29% 28% 27% 26% 25% 24% 23% 22% 21% 20% 19% 18% 17% 16% 15% 14% 13% 12% 11% 10% 9% 8% 7% 6% 5% 4% 3% 2% 1% 0%



2016.9.13 朝 京都東山七条 朝今にも雨が降り出しそう。 傳習館の門についで見える東山にも雲がかかっている。 寺前は雨に降ったもののやむを得ず、東山を越えてゆく滑石街道は、雨に降られても大丈夫。 稲荷山山中で南にやられるといやですが、その時は、北 五條道の終点街道を走ってみたい。 滑石街道の出口、今熊野にむかって 東山を越えて



スタートは東山七条智徳院前 東山通りを南へ 今熊野に向かう 2016.9.13. 10:25



歩きだしてすぐ JR東海道線が走り抜ける横が見え、その向こうに信号がある今熊野の交差点が見えてくる 東山通り:東山トンネルを出てきたJR&新幹線が走り抜ける今熊野橋&今熊野の交差点周辺 2016.9.13.



今熊野橋より、東山をトンネルで抜けてゆくJR東海道線(左)・新幹線(右) 2016.9.13. 滑石街道は正面に見える東山の右手を越えてゆく



今熊野橋より、西の京都駅側を眺める 右手奥に京都タワーが見えている 2016.9.13.



今熊野橋のすぐ南 今熊野交差点を右に入ると滑石街道の入口 2016.9.13. 滑石街道：京都今熊野から東山を越えて山科 西野山大石道を結ぶ 京都府道118号 観音寺今熊野線



京都府道118号 観音寺今熊野線 滑石街道の入口 2016.9.13. 10:35



京都府道118号 観音寺今熊野線 滑石街道の入口 2016.9.13. 10:35 どう見ても普通の生活道路 家々の間の狭い道が東山へ通ってゆく



滑石街道今熊野 南日吉町周辺 JR東山トンネルのすぐ南側を並行して 飯道を東山に越えてゆく





滑石街道 東山峻越の乗越への峠道 2016.9.13. 10:54



10:55 滑石街道 東山峻越 滑石越 峠へ 2016.9.13.



滑石街道 東山峻越乗越への峠道 2016.9.13. 10:54



滑石街道 東山滑石越 峠<京都府熊野/山科西野山> 2016.9.13. 11:03



滑石街道 東山滑石越 峠 山科西野山側は急な下り道 2016.9.13. 11:03

京都市内からは壁のように立ち上る東山が、特に驚いたことでもなく、ほんの30分程度で越えられる本道に負けず、びっくりです。やっぱり、大石内蔵助が山科から伏見・京都へ通った最短で安全だった道なんだろうと……



滑石街道 山科西野山 ヘアピンカーブ 2016.9.13. 11:08

カーブの右手 藪の中に「西野山古墓」の石標が建っていました



滑石街道 東山滑石越 峠 山科西野山側は急な下り道 2016.9.13. 11:07

つづら折れの坂道の次にはヘアピンの標識が見える。このヘアピンの頂点部が今聞かひ訪ねたがった坂之上田村屋の墓といわれる西野山古墓のあるところである。



ヘアピンカーブのところ 坂之上田村屋の墓といわれる「西野山古墓」 2016.9.13. 11:08



